



体育委員会のイベント「かけっこ大会」

今週は、「わくわく通信 105号」でも紹介した体育委員会のイベントが朝から催されています。コロナ感染症防止対策として、イベントが延期されていましたが、今週は学級閉鎖もなく、ようやく行うことができます。21日(月)は高学年、22日(火)は中学年、そして本日24日(木)が低学年でした。朝7時40分に体育委員会の放送で、運動場に集まった子供たちは、わくわくしながら自分の順番を待ち、ゴールまで全力で50mを走りました。ゴールでは、体育委員会の子供たちがタイムを計ってくれます。「〇〇秒だよ」と伝えると、「(スポーツテストのときのタイムと比べて)おー、速くなっている!」などの声が上がります。また、何度もかけっこに挑戦し、中には4・5回も走る子供もいて、とても盛り上がっていました。



体育委員長の田添さんに、かけっこ大会への思いを尋ねると「これを機に楽しく体力アップをして欲しいです。」と答えてくれました。他にも様々な委員会が委員会運営に工夫を重ねてくれています。こういう子供たちのお陰で、本校では自分で考え、進んで行動できる子供が育ち、出番と活躍のある学校になっているのだと思います。

かけっこ大会に向け、準備や朝早くからのライン引きをしてくれた体育委員会の子供たちに感謝しています。

子育てに生かす!「ブーメラン効果」

ブーメランと効果とは、相手を一生懸命に説得するほど、反発が起こって逆の行動に導いてしまうという現象のことです。人は行動を強制されると、それに反発したくなります。「勉強しなさい」と言われてやる気がなくなった、という経験を持つ人も多いのではないのでしょうか。



ブーメラン効果が起きやすい条件が二つあります。一つは「説得者と同じ意見であるとき」。自分の意見と反対のことを説得されるから反発したくなるのではないかと考えてしまいがちですが、そうではないのです。「自分でそうしようと思っていたのに!」というときに反発して、逆の行動をとろうとします。もう一つは「説得者を信用していないとき」。初めて会った人に説得されたら、反発したくなるのが普通だと思います。親子間では、信頼関係が成り立っていると思いますので、前者を生かすと、「〇〇についてどう思う?」「今日の予定は?」など、子供自身が考えていることや予定について尋ね、やるべきことが予定に入っていないときにアドバイスするなどすると、今すべき事を自覚し、子供たちも前向きに取り組むようになると思います。